

平成30年度事業評価

課別評価シート

【子ども家庭部 幼児保育課】

[子育て支援]

このシートでは、基本構想の実現に向けて、各課が目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《 検討の視点 》

課題の洗い出し

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度
(事業実績の推移)
- 左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
 - 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
 - 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
 - 新規事業の必要性
 - 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分
- 【方向性の類型】
- 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
 - 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
 - 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
 - 終了確定 → 事業が既に終了した、または終了が確定しているもの

【子育て支援】

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1 中間アウトカムと計画事業の一覧 | P.2 |
| 2 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.3 |
| 3 中間アウトカム (D) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.4 |

1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【子ども家庭部 幼児保育課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。
基本構想の【子育て支援】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	1-1 子育て支援
将来像	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち

中間アウトカム (C)
子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している

中間アウトカム (D)
子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている

基本構想実施計画事業	
① 地域子育てステーション	再掲 幼児保育
子ども家庭相談事業	再掲 子家セ
親子ひろば事業	再掲 子家セ
家庭教育支援の推進	教育総務
子育てひろば事業	再掲 子育て支援他
子育て情報提供事業	子育て支援
地域団体による地域子育て支援拠点事業	再掲 子育て支援
乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)	保健サ
文京区版ネウボラ事業	再掲 保健サ
母子家庭等自立支援事業	生活福祉
子どもの貧困対策	再掲 子育て支援他

基本構想実施計画事業	
① 地域子育てステーション	幼児保育
② 私立認可保育所の開設を中心とした待機児童対策	幼児保育
③ 保育園障害児保育	幼児保育
④ 多様な保育サービス事業の実施	幼児保育
⑤ 文京区版幼児教育・保育カリキュラムの実践と検証	幼児保育他
⑥ 区立お茶の水女子大学こども園の運営	幼児保育
⑦ 青柳保育園改築	幼児保育
親子ひろば事業	子家セ
子育てひろば事業	子育て支援他
ベビーシッターの派遣による子育て支援	子育て支援
一時保育事業	子育て支援他
ショートステイ・トワイライトステイ事業	子育て支援
地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援
区立幼稚園の認定こども園化	学務他
区立幼稚園の預かり保育	学務
幼稚園特別保育	教育指導
育成室の整備拡充	児童青少年
育成室への障害児受入れ	児童青少年
文京版スターティング・ストロング・プロジェクト	再掲 教育セ他
病児・病後児保育事業	子育て支援
民間学童クラブ(都型学童クラブ)による小学生の受入れ	児童青少年

2 中間アウトカム (C) に関する事業の実施状況と自己評価

【子ども家庭部 幼児保育課】

【子育て支援】の中間アウトカム(C)に紐づく基本構想実施計画事業（幼児保育課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (C) **子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している**

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的
①	地域子育てステーション	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
※「1-1 子育て支援」の「中間アウトカム(D)」に実施状況が記載されます。		

No.	事業名	事業目的
他課	子ども家庭相談事業	各家庭が個々の状況に応じた適切な支援を受けている
他課	親子ひろば事業	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	家庭教育支援の推進	子育て家庭同士で子育ての知識や経験が共有されている
他課	子育てひろば事業	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	子育て情報提供事業	子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービス等を知っている
他課	地域団体による地域子育て支援拠点事業	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん訪問事業)	子育ての不安や悩みが解消され、母子の健康が守られている
他課	文京区版ネウボラ事業	妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している
他課	母子家庭等自立支援事業	母子・父子家庭の保護者が、生活の安定につながる知識・技能を習得している
他課	子どもの貧困対策	経済的困窮にある子育て家庭の経済的負担や心理的負担が軽減している

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (C) **子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している**

課題等を有する計画事業の有無

無

3 中間アウトカム (D) に関する事業の実施状況と自己評価

【子ども家庭部 幼児保育課】

【子育て支援】の中間アウトカム(D)に紐づく基本構想実施計画事業（幼児保育課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (D) **子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている**

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的				
①	地域子育てステーション	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している				
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	区立保育園18園で月1回午前中に開催する子育てステーションへの参加人数	人	2,333		2,333	3,000
	事業費(千円)		1,224			
	行政コスト(千円)		1,487			
	所要人員		0.032			
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載				

No.	事業名	事業目的				
②	私立認可保育所の開設を中心とした待機児童対策	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている				
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	私立認可保育所、認証保育所、認可外保育施設における預かり数	人	3,010		3,010	4,154
	※3カ年計画については、子ども・子育て支援計画における保育ニーズ量を踏まえ、待機児童数の動向を見極めながら毎年度見直しを行います。					
	事業費(千円)		6,439,515			
	行政コスト(千円)		-			
所要人員		3.781				
進捗の課題	有	平成30年3月に見直しを行った子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量や待機児童の実態を踏まえ、引き続き認可保育所の開設誘致を行い、保育所待機児童の解消を目指します。				

No.	事業名	事業目的				
③	保育園障害児保育	特別な配慮を要する児童が、必要な保育を受けている				
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	個別指導計画に基づく集団保育を実施する。	園	18		18	18
	事業費(千円)		132,197			
	行政コスト(千円)		18,833			
	所要人員		0.124			
進捗の課題	有	近年、特別な配慮を要する児童数が増加するとともに、配慮の内容も多様化しています。なお、保育園における医療的ケア児の受入れにあたっては、安全・安心な保育環境と協力体制が確立されていることが不可欠であり、施設や子どもの状況に鑑み、安全な環境の確保に期した対応策を考えていく必要があります。				

No.	事業名	事業目的				
④	多様な保育サービス事業の実施	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている				
		H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	小規模保育所、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業における預かり数	人	129		129	509
	※3力年計画については、子ども・子育て支援計画における保育ニーズ量を踏まえ、待機児童数の動向を見極めながら毎年度見直しを行います。					
	事業費(千円)		366,189			
	行政コスト(千円)		-			
	所要人員		0.763			
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載				

No.	事業名	事業目的		
⑤	文京区版幼児教育・保育カリキュラムの実践と検証	区立保育園と区立幼稚園で、子どもたちが等しく質の高い幼児教育・保育を受けている		
		H29	H30	H31
主な取組	『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』改訂版の策定しました。 ・幼稚園・保育園職員合同研修会を実施しました。 ・保護者にリーフレット配布しました。			
	事業費(千円)			
行政コスト(千円)				1,938
所要人員				0.124
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載		

No.	事業名	事業目的		
⑥	区立お茶の水女子大学こども園の運営	子どもたちが、大学の研究成果を生かした、質の高い保育サービス・幼児教育を受けている		
		H29	H30	H31
主な取組	こども園の運営(93名) ・育児相談等の地域子育て支援事業のほか、区内保育士の研修受け入れ等を実施しました。 ・お茶大こども園フォーラム(第2回)を開催しました。			
	事業費(千円)			
行政コスト(千円)				177,568
所要人員				0.256
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載		

No.	事業名	事業目的		
⑦	青柳保育園改築	子どもたちが、安全・安心な環境で保育されている		
		H29	H30	H31
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・仮園舎の建設工事を実施しました。 ・本園舎から仮園舎への移転を実施しました。 ・本園舎の解体工事を実施しました。 		
	事業費(千円)	144,421		
	行政コスト(千円)	133,694		
	所要人員	0.479		
	進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	

No.	事業名	事業目的
他課	親子ひろば事業	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	子育てひろば事業	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	ベビーシッターの派遣による子育て支援	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している
他課	一時保育事業	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している
他課	ショートステイ・トワイライトステイ事業	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している
他課	地域団体による地域子育て支援拠点事業	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している
他課	区立幼稚園の認定こども園化	子どもたちが、ニーズにあった幼児教育・保育を受けている
他課	区立幼稚園の預かり保育	園児が必要な保育を受けている
他課	幼稚園特別保育	幼稚園教育の特性を活かしながら、特別な配慮を要する幼児の健やかな成長が促されている
他課	育成室の整備拡充	待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている
他課	育成室への障害児受入れ	特別な配慮を要する児童が、個々に応じた保育を受けている
他課	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている
他課	病児・病後児保育事業	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している
他課	民間学童クラブ(都型学童クラブ)による小学生の受入れ	民間のノウハウを生かした質の高い保育を受けている

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (D)		子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている	
課題等を有する計画事業の有無		有	
事業名 及び 事業目的	私立認可保育所の開設を中心とした待機児童対策 保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている	方向性 の類型	【拡充】
課題及び 方向性	平成30年3月に見直しを行った子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量や待機児童の実態を踏まえ、引き続き認可保育所の開設誘致を行い、保育所待機児童の解消を目指します。 また、平成31年10月に予定されている幼児教育無償化によるニーズ量への影響についても検討し、保育所待機児童の解消を目指します。		
事業名 及び 事業目的	保育園障害児保育 特別な配慮を要する児童が、必要な保育を受けている	方向性 の類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	近年、特別な配慮を要する児童数が増加するとともに、配慮の内容も多様化しています。 なお、保育園における医療的ケア児の受入れにあたっては、安全・安心な保育環境と協力体制が確立されていることが不可欠であり、施設や子どもの状況に鑑み、安全な環境の確保に期した対応策を考えていく必要があります。		

評価実施のチェックリスト

以下の各項は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分